

令和3年度学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>① 生徒の主体的に学ぶ意欲を引き出し確かな学力を育みながら、新たな学力の育成や評価についても研究を進める。</p> <p>② 令和4年度生から実施される新指導要領と新校統合再編への移行期に向けてカリキュラムの研究・編成を進める。</p>	<p>① 生徒の主体的な学習活動を促進するため「学びに向かう力・人間性等」を醸成し、ICTも活用しながら探究心をくすぐる授業づくりに組織的に取り組む。</p> <p>② 新学習指導要領を踏まえた次期指導計画の作成を各教科で進め、新校移行が完了する令和6年度入学生に向けて新カリキュラムの計画的な運用をはじめめる。</p>	<p>① ICTを活用しながら授業内における生徒の活動を活性化できるような教材研究の成果を組織的に発表、共有できる研修会を実施する。</p> <p>② 次年度の年間指導計画の作成を早期に進め、新学習指導要領への移行と新校準備へスムーズに対応できるよう組織的に支援する。</p>	<p>① ICTが平常授業の中で活用され、その成果を各教科が研修会で発表できたか。また、その結果、生徒の「学びに向かう力・人間性等」に関わる授業評価が前年度より向上したか。</p> <p>② 新学習指導要領を踏まえた次期年間指導計画の作成に着手できたか。また、その結果、各教科の新カリキュラムへの理解が深まり、新校の授業ビジョンに資することができたか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>① 部活動や生徒会行事等における生徒主体の協働的、創造的な活動を通して豊かな人間性と望ましい社会性を育む。</p> <p>② 個々の生徒に応じた組織的な支援体制を確立し、互いに認め合い高め合える安全安心な学校環境を整える。</p>	<p>① 行事、部活動、委員会活動など多様な生徒活動を生徒会本部役員が主体となり、職員と協働して取り組む。</p> <p>② 教育相談体制のもと、支援が必要な生徒について、学年・グループ等で早期に把握し、SC活用やケース会議、外部機関との連携等、個々のニーズに合った支援を目指す。</p>	<p>① 各委員長、部長の会合を生徒会本部役員中心に定期的実施し、活動を定期的に振り返り、情報を共有する。行事では生徒が主体的に考え、職員と協働して取り組む。</p> <p>② 欠席のめだつ生徒や気になる生徒について定例のグループ打合せで情報共有し、必要に応じてSC活用やケース会議、外部機関等との連携をすすめる。また、教職員対象に生徒対応の啓発研修を企画していく。</p>	<p>① 部活動や生徒会行事等の取組状況を、生徒会が取りまとめ、全校生徒へ発信できたか。行事アンケートでは主体的な取り組みに対する肯定的な回答が増えたか。</p> <p>② 欠席のめだつ生徒や気になる生徒について、早期に情報共有ができたか。支援が必要な生徒について組織的に対応したか。また、生徒のニーズに合った支援となっていたか。</p>
3	進路指導 ・支援	<p>① 3年間を通じた体系的なキャリア教育により、早期から将来を展望した自己理解、キャリア学習を深めさせる。</p> <p>② 一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、各種進路探究活動をきめ細やかに支援し、全生徒の第1志望達成を目指す。</p>	<p>① 体系的なキャリア教育を計画的に配置し、自己理解を深め、将来の目標に向かい主体的に行動できるよう進路意識の向上を図る。</p> <p>② 進路に向けて、探究活動を支援し、自己にあった入試方法を選択させ、生徒の第1志望が達成できるようサポートする。</p>	<p>① キャリア教育実践プログラムを計画的に配置し、生徒が自己理解を深め、将来の目標を定め、進路に向けて具体的な行動をとれるよう支援する。</p> <p>② 探究活動を通して、将来にわたって学び続ける力を身に付けさせるとともに、第1志望が達成できるよう、教員の進路支援体制も強化する。</p>	<p>① キャリア教育実践プログラムに添って適切に進路支援を行うことで、生徒の進路意識が向上したか。模試や検定へのチャレンジ等、進路に向けて具体的な行動をとることができたか。</p> <p>② 探究活動を計画的に配置し、適切に実施できたか。生徒は第1志望を達成できたか。学習指導だけでなく、総合型選抜、学校推薦型選抜対策等、手厚い指導を行うことができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>① 王子自治会や、厚木商業高校と協働して防災教育を推進し、防災体制の確立と改善に努める。</p> <p>② P&E厚木東コミュニティスクール等を活用して地域の求める学校像を把握し、学校創りや地域貢献活動等に活かす。</p>	<p>① 厚木商業高校とともに、王子地区自治会と協働し、防災体制を確立する。</p> <p>② 生徒が公民館や自治体など地域の方と交流や連携をし、地域貢献する機会を設ける。</p>	<p>① 生徒の防災委員を中心に王子地区防災訓練（避難所開設訓練）に積極的に参加し、避難所開設の体制を整える。</p> <p>② 公民館を通じて生徒活動の情報発信を行う。また、自治会等の活動に協力する。</p>	<p>① 地区防災訓練に積極的に参加できたか。避難所開設の体制の構築ができたか。生徒の防災意識が高まったか。</p> <p>② 生徒活動の情報発信ができたか。自治会等の活動に協力できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 生徒が安全・安心、また快適に過ごせるよう教育環境の整備を進める。また、新校再編に向けて、教室や諸設備の活用計画を進める。</p> <p>② 時代の要請に応じた教育のICT環境の整備を推進し、業務の効率化を図る。</p>	<p>① 施設・設備の老朽箇所、危険箇所の状況を把握し、その改善に努め、安全・安心快適な教育環境を整える。新校準備委員会と連携し、施設設備の活用計画をたてる。</p> <p>② 校内のICT環境を整備し、職員の協働により創造的な学校運営を行う。より質の高い教材を提供し、生徒の主体的な学習への意欲を伸長する。</p>	<p>① 生徒の整美委員と協働し、施設・設備の老朽箇所、危険箇所のデータベースを作成し、生徒の意見を取り入れながら最適な教育環境づくりを進める。新校舎の活用や新校舎建設工事を安全に進めるため、生徒の動線を検討する。</p> <p>② 職員間で情報の交換を容易にし、優れた教材や実践を共有する。ICTの利活用を、より効果的な段階へ発展させ、生徒の学習に対する意欲を高める。</p>	<p>① データベースを作成し、施設の改善および教育環境の整備ができたか。新校再編に向け、施設設備活用計画ができたか。</p> <p>② 教員、生徒が安心して Google Classroom 等を活用できる環境が整備されたか。職員間の情報の共有、協働により、業務の効率化が図られたか。また、生徒が主体的に学習に取り組む意欲を伸ばすことができたか。</p>